

全日本社会貢献団体機構が第5回大賞と助成金の贈呈式

大賞は千葉県遊協の「夢まるるふぁんど」中心の事業

全日遊連の第三者機関「社会福祉法人全日本社会貢献団体機構」(AJOSC、塩川正十郎会長)と東洋大学総長、元財務大臣(II)は7月22日、東京・JR恵比寿駅から徒歩7分の「ウエスティンホテル東京」で全日遊連理事やテレビ、新聞等のマスコミを集め「第5回社会貢献大賞」と「平成22年度助成事業助成金贈呈式」を開催。県遊協、支部組合、組合員ホール企業が昨年1年間の間に実施し、各県遊協から申請のあった社会貢献活動81件から栄えある大賞に選ばれたのは、千葉県遊協(大城正準理事長)が行った「夢まるるふぁんど」を中心とした総合的社会貢献の事業。一方、助成先の一般社会貢献団体27団体には合計6350万円が贈られた。

AJOSCは毎年11月開催の「ファン感謝デー」の1セット価格7万7000円に含まれるAJOSC C会費3500円で運営。業界

(ホール側)の社会貢献のPR不足克服を目的に全日遊連が作った団体で、年1回の同式典はそのPR

の場。

ホール側が受ける社会貢献大賞と、一般の社会貢献団体が受ける寄付金贈呈をセットで発表し、同時に、昨年1年間に全国の組合と組合員ホール企業が社会貢献に使った14億円の活動を「社会貢献

活動年間報告書」にまとめ社会に配布(刷数2万5000部)することによって、業界の社会貢献を広く知らせようという狙いだ。

式典は脇田直枝AJOSC理事の、第5回社会貢献大賞の審査経過報告から開始。今回は37県遊協から81件申請があり、前年より2県遊協、9件の減少。内訳は都府県方面部門(県遊協部門)31件、支部組合部門18件、組合員ホール部門32件で、この中から大賞1件と、部門別にそれぞれの最優秀賞1件、優秀賞数件、さらに審査員特別賞1件を決定。塩川会長から表彰状とトロフィーが贈呈された(受賞した組合名とホール企業名は左ページに掲載)。

ど)が受賞。

千葉県遊協の大城正準理事長は「この夢まるるふぁんどは、阪神大震災で手痛い打撃を受けた兵庫県遊協がいち早く立ち上げた「はあ」とふるふぁんど、これがきっかけになっている」と、兵庫県遊協の社会貢献活動を手本に平成17年に設立した経緯を説明。

さらに「まだまだ100%の(同事業への)加入率ではないし、大変疲弊している業ではあるが、お客様の考え、そして浄財が社会貢献という地域との共生に役立てることができたことが大変嬉しく、そしてそのへんを評価していただいたのかなと思う。今回は自信を持って千葉県に戻り、お客様を含め組合員と一緒に喜び、感激をかみしめたいと思う」と謝辞を述べた。

「お客様を含め組合員と一緒に感激をかみしめたい」

原田理事長



大賞は、こほれ玉や客が寄付した端玉を各ホールで金に換算。それを基金として地元メディアの新聞、テレビ、ラジオの協力で

キャンペーンを行い、福祉事業(公募)、地域振興事業(公募)、文化国際事業の3部門でそれぞれ支援金を贈るという千葉県遊協の「夢まるるふぁん

重要度、企画の斬新性、実施効果、実施団体の信頼性等を基準に選考。その後のAJOSC理事会で

一般助成25件、特別助成2件の合計27件の事業に対して、総額6350万円の助成を決定。各団体に助成金の目録が贈呈された(団体名、金額等は左ページに掲載)。

「パチンコ博物館」がパチンコ文化伝承で特別助成

特別助成のリカバリーサポート・ネットワークは毎年恒例だが、もう1件のパチンコ博物館(東京・東上野)は初の特別助成(100万円)。パチンコ文化伝承事業として評価され、牧野哲也館長が満面の笑みで原田実全日遊連理事長(AJOSC理事長)から助成認定証を受けた。

松尾守人AJOSC理事の祝辞、堀田力さわか福祉財団理事長の記念ショートスピーチ(8ページ)に関係記事)で閉会。このあと懇親レセプションでは原田理事長の挨拶、六戸岩男日本ゲームカード(株)常務、西木正明日本ベンクラブ常務理事(直木賞作家)の祝辞、深谷友尋日遊協会長の乾杯音頭で祝宴に入った。受賞した組合、企業は以下のとおり。

特別助成を受けたパチンコ博物館の牧野館長



特別助成を受けたパチンコ博物館の牧野館長

特別助成を受けたパチンコ博物館の牧野館長

特別助成を受けたパチンコ博物館の牧野館長



配布された「社会貢献活動年間報告書」

う声に応え、施設収容児童、知的障がい児童を招き、平成7年から体験学習の機会を提供しており、21年は地引網大会を開催。
《支部組合部門優秀賞》
 ①埼玉県遊協岩槻遊技業組合
 ②大阪府遊協貝塚遊技業組合
 ③和歌山県遊協和歌山市遊技場組合
 ④盲導犬育成事業への支援、子育て支援の「子育てトーク&マタニティコンサート」の開催
 「献血サポーター」として献血活動の普及啓発に努めるほか、地域に密着した多様な活動を展開。

【第5回社会貢献大賞】

《大賞》

千葉県遊協「夢まるふあんし」を中心とした総合的社會貢献事業。県内の3つの放送局、新聞社と平成17年に「夢まるふあんし」委員会を設立、福祉支援、地域振興、文化支援の分野について、事業内容の設定や告知広報等の役割を連携分担して実施するなど、効果的、効率的に社会貢献活動を展開。

《都府県方面部門最優秀賞》

奈良県遊協「平安選都1300年記念事業協会」への支援事業。地域に密着したタイムリーな社会貢献活動の一環として、奈良県をあげて取り組んでいる「平安選都1300年記念事業」に協賛、支援し、事業推進に大きく貢献。

《都府県方面部門優秀賞》

①愛知県遊協「名古屋城本丸御殿復元過程映像制作と寄贈事業」
 ②京都府遊協「視覚障がい者オープンゴルフ京都大会」への支援事業。
 ③福岡県遊協「こども絵画コンクール」開催事業。

《支部組合部門最優秀賞》

神奈川県遊協茅ヶ崎遊技場組合「みんなで作ろうみんなの思い出」推進事業。夏休みの宿題で「夏の思い出」の絵が描けないとい

う声に
 児童、知的障がい児童を招き、平成7年から体験学習の機会を提供しており、21年は地引網大会を開催。
《支部組合部門優秀賞》
 ①埼玉県遊協岩槻遊技業組合
 ②大阪府遊協貝塚遊技業組合
 ③和歌山県遊協和歌山市遊技場組合
 ④盲導犬育成事業への支援、子育て支援の「子育てトーク&マタニティコンサート」の開催
 「献血サポーター」として献血活動の普及啓発に努めるほか、地域に密着した多様な活動を展開。

《組合員ホール部門最優秀賞》

宮城県遊協の扇屋商事「地域と密着した総合的社會貢献事業」
 盲導犬育成事業への支援、子育て支援の「子育てトーク&マタニティコンサート」の開催
 「献血サポーター」として献血活動の普及啓発に努めるほか、地域に密着した多様な活動を展開。

《組合員ホール部門優秀賞》

①高根県遊協の㈱丸三「エコプロジェクト」等による総合的社會貢献事業。
 ②岡山県遊協の㈱三永「社会貢献福祉基金「サン基金」による助成金授与事業」

《審査員特別賞》

㈱ヤクルト本社「青少年育成キヤンペーン」
 「少年野球教室」への支援事業。遊技業界が開催する「少年野球教室」に対し、東京ヤクルトスワローズOB選手を派遣して指導にあたる等、全国の子どもたちに野球の楽しさを伝えるとともに、技術の向上に貢献。

「学術」「命」「子ども」「特別」の27団体に6350万円助成

【平成22年度助成金贈呈先】

1、学術・文化の振興分野への助成

- ①「美術教育関連アーカイブセンター開設」事業＝NPO法人市民の芸術活動推進委員会(100万円)
- ②「女流義太夫の保存継承」事業＝社団法人義太夫協会(200万円)
- ③「築200年の古民家を多世代はうすに再生」事業＝NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所(150万円)
- ④「関西映像ライブラリー構築と発信」事業＝一般社団法人映像通信(150万円)
- ⑤「信楽陶芸トリエンナーレ2010『信楽まちなか芸術祭』」事業＝信楽陶芸トリエンナーレ実行委員会(300万円)
- ⑥「伝統的な木造建築技術の継承」事業＝チルチンびと「地域主義工務店」の会(100万円)
- ⑦「日・中・韓芸術家国際交流展覧会シンポジウム」事業＝日・中・韓芸術家交流実行委員会(300万円)
- ⑧「創造する伝統 社の中の文化祭～都会の社の中で自然と文化・芸術を体験する～」事業＝公益財団法人日本文化藝術財団(150万円)
- ⑨「『水の手紙・中国杭州上海公演』～演劇が喚起する地球環境への感性と国際交流～」事業＝社団法人国際演劇協会(100万円)

⑩「日中韓文化交流フォーラム」事業＝公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団(300万円)

⑪「インド・フォークアートの制作と公開」事業＝NPO法人日印交流を盛り上げる会(150万円)

⑫「西・中央・東アジア写真資料のデジタルアーカイブ構築」事業＝東西美術交流研究センター(100万円)

⑬「第76回国際ペン東京大会記念文学フォーラム・セミナー」事業＝社団法人日本ペンクラブ(100万円)

2、命を大切に研究や活動

①「ヒマラヤ山村の命と暮らしをまもる植林」事業＝NPO法人ヒマラヤ保全協会(150万円)

②「社会的ハンディや種々の障がいを持つ人びとを支援するための雑誌『ディプソル』の編集・発行」事業＝NPO法人台所油田・フリーハンディキャップ協会(100万円)

③「生涯スポーツと競技スポーツの融合・強化」事業(Ⅱ)＝ジャンピング体操スクール(250万円)

3、子どもの健全育成に関する事業

①「小学生向け防災学習ウェブサイトの構築」事業＝NPO法人イーフラッグスプロジェクト推進協議会(200万円)

②健全育成資料(小学生・中学生)の作成・頒布」事業＝社団法人全国少年警察ボ

ランティア協会(100万円)

③「国民読書年 ことば文化 啓発キャンペーン」事業＝新潟・栃木ことば文化推進協議会(300万円)

④「日韓のこどもたちの絵を通じた国際理解促進」事業＝NPO法人国際教育情報交流協会(200万円)

⑤「子どもの心に寄り添う『チャイルドライン』実施強化」事業＝NPO法人チャイルドライン支援センター(100万円)

⑥「子どもの主体的な遊びにより人間力を育てるための調査研究」事業＝公益財団法人さわやか福祉財団(200万円)

⑦「新国立劇場こどものためのバレエ劇場」事業＝財団法人新国立劇場運営財団(200万円)

⑧「子どものしあわせリンクプロジェクト～日本と世界、つながって知ろう、働くこどものこと～」事業＝NPO法人ACE(150万円)

⑨「紙芝居による『心の教育』プロジェクト～みんなで『しんせつさん』になろう～」事業＝社団法人「小さな親心」運動本部(100万円)

4、特別助成

①「ばちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業＝NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク(2000万円)

②「パチンコ文化伝承」事業＝パチンコ博物館(100万円)